



藤沢記者クラブ各位

市指定史跡「大庭城跡」の調査を実施します

～大庭城址公園の館址広場で試掘・確認調査を行います～

市指定史跡「大庭城跡」は、現存する貴重な戦国時代の山城の遺跡です。大庭城は15世紀末に扇谷上杉氏によって築されましたが、永正9年（1512）伊勢宗端（北条早雲）に攻め落とされました。現在は大庭城址公園として、市民の憩いの場となっています。

公園南端部の館址広場は、昭和40年代の調査によって、大型の掘立柱建物跡が3棟確認されました。そのことから、館址広場は大庭城の中心的な場所（主郭）であったと考えられています。確認された建物跡は盛土され地下に保存されています。

今回の調査では、館址広場に試掘坑を設定し、地下の建物跡を再検出、現代の技術で再測量を行い、正確な位置を把握することを目的としています。また、作業日程の中で、現地見学会を開催する予定です。

【調査の詳細】

- 1 日程 2026年（令和8年）
3月2日（月）～3月19日（木）
※土日祝日を除く
- 2 場所 大庭城址公園 館址広場
- 3 現地見学会 2026年（令和8年）
3月14日（土）予定
詳細は、3月10日（火）までに郷土歴史課ホームページ及びXでお知らせします。



昭和40年代の調査で見つかった
3号掘立柱建物跡